

ハイパーバイザ上から大量のアプリケーション・トラフィックを生成

diversifEye™ ダイバーシファイ

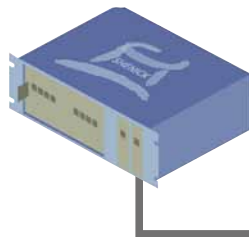
仮想化&クラウド・コンピューティング検証ソリューション

仮想化環境、クラウド基盤の仮想ネットワークにおいて、仮想マシンは相互に直接接続されているか、または仮想スイッチを介して接続されている可能性があります。仮想サーバの中にはホストプラットフォームから直接的な外部接続を持たないものもあるので、従来型のテスト手段はもはや適用されません。このことは、新しいテストアプローチが必要であることを意味します。つまり、インフラストラクチャーのインターフェイスから仮想ネットワーク、仮想ネットワーク上の仮想マシン、およびアプリケーションをテストするために仮想化環境上で動作する試験製品が必要になります。

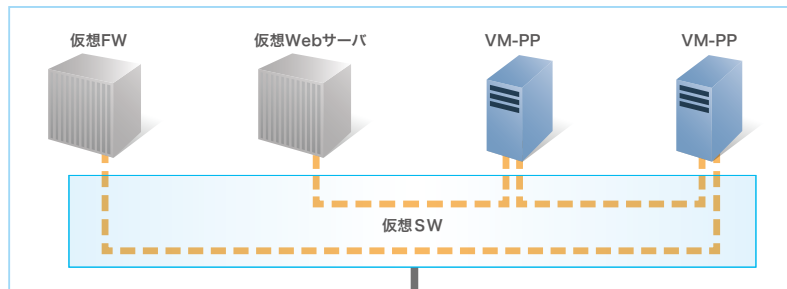
特徴

- ・VMware/XenServer/KVM/Hyper-V(2012年リリース予定) 各種ハイパーバイザ上での動作に対応
- ・VM-VM間のアプリケーション・トラフィックの負荷生成が可能
- ・仮想SW、仮想FWといった仮想ネットワークを構成する仮想インスタンスの負荷試験が可能
- ・多数のVMが動作しているハイパーバイザ内で大量のトラフィックが発生した場合の性能評価が可能

ダイバーシファイ・シャーシ
Or
VM-PP制御用サーバ



ハイパーバイザ

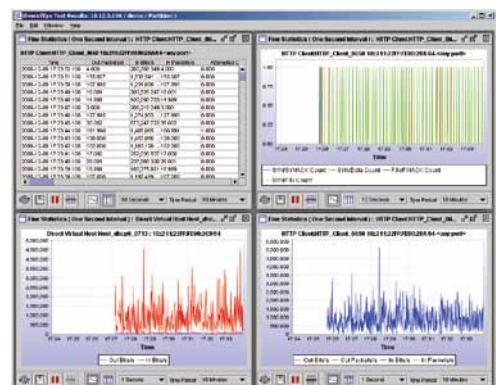


仮想トラフィックジェネレータ制御用NW

仮想NW上に生成したアプリケーション・トラフィック

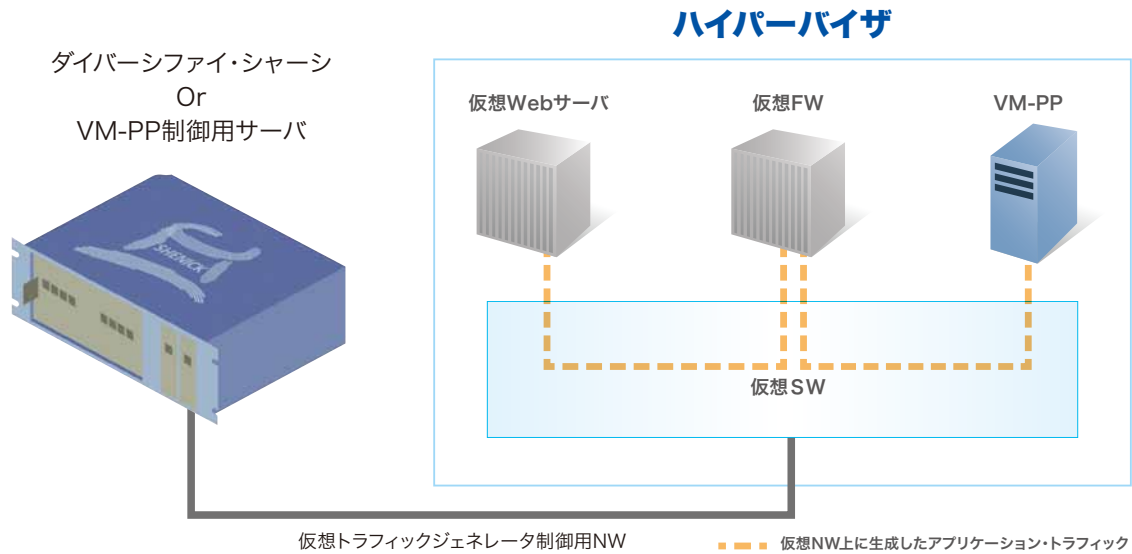
diversifEye Virtual Machine Packet Processor (VM-PP)

- 各種ハイパーバイザに対応したトラフィック生成用仮想マシン
- IPv4/IPv6に対応したアプリケーション(HTTP/HTTPS/Mail/FTP等)から音声、映像といったアプリケーションのトラフィックを大量に生成することが可能
- SYN Flood、ARP Floodといった各種DDoS攻撃の他、HTTPの異常コネクションなどWebサーバの堅牢性を検証する攻撃をサポート
- ハイパーバイザの動作環境に応じて高負荷の生成が可能
(参考値: VM-PP間のHTTPスループット3.2Gbps)

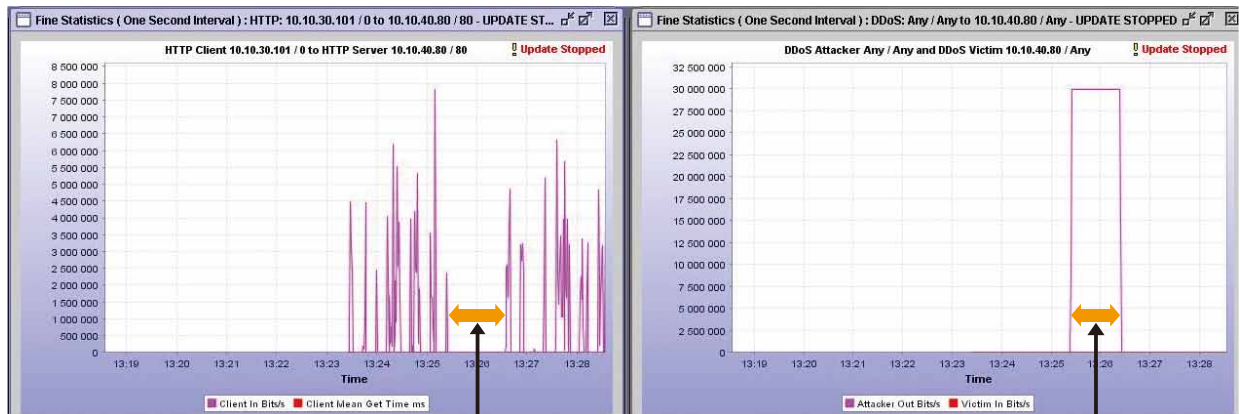


試験例

仮想ネットワーク上の仮想マシン間での通信を想定し、仮想トラフィック・ジェネレータ (VM-PP) から仮想SW、仮想FWを経由して仮想WebサーバにHTTPのトランザクションを大量生成。
一定時間に異常トラフィック (DDoS攻撃: ARP Flood) を大量に同時生成し、HTTPのフロー毎の性能値を測定。



試験結果



異常トラフィックが大量発生した場合、Client-Sever間のスループットが急激に低下
クラウドなど仮想NWのリソースを共有するサービスでは、大きな問題となる可能性がある

■記載内容および仕様は予告なしに変更されることがあります。



エンプレックス株式会社

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-11 フジワラビルディング7F
Tel: 03-5457-2342 Fax: 03-5457-0541
E-mail: HammerJapan@empirix.com URL: www.empirix.co.jp

※diversifEyeは Shenick Network Systems社の製品です。 ※VMwareは ヴィエムウェア社の製品です。
※XenServerは シトロックス社の製品です。 ※Hyper-Vは マイクロソフト社の製品です。
※記載されている社名・製品名は各社の商標または商品登録です。

©2011 Empirix. All rights reserved.

■販売代理店